

農委

よねさわ

農業委員辞令交付式の様子

農地利用最適化推進委員
委嘱状交付式の様子

主な記事

新農業委員会が

スタートしました

7月20日の改選に伴い、農業委員19名に市長から辞令が交付されました。

また、同日付で農地利用最適化推進委員16名に、農業委員会会長から委嘱状が交付されました。

- 農業委員会委員辞令交付式・
農地利用最適化推進委員委嘱状交付式 1
- 会長就任挨拶、新任委員・退任委員紹介 2・3
- 農業委員会の組織と役割について 4・5
- 委員の担当地域について 5
- 新規就農者認定書授与 6
- 収入保険のお知らせ 6
- 地域かわら版（北部コミセン事業） 7
- がんばっている人 8

【会長就任の挨拶】



会長

小関 善隆

窪田町矢野目

日頃より、農業委員会業務の運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の改選において、農業委員会会長に再任され、改めてその重責を強く感じ、身の引き締まる思いであります。

さて、昨今の農業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあります。2025年農林業センサスによれば、農業経営体は5年で2割減少し、80万戸を割りました。また、基幹的農業従事者は、2000年の240万人から半数以下に減少し、ついに100万人を下回る98万6千4百人となりました。農業者の高齢化、担い手の減少、生産資材の高騰など、様々な課題を抱えています。農政においては、改正食糧法をはじめとする8つの法案が成立しましたが、持続可能な農業、そして農業者が希望を持てる農政の実現を強く望むものです。

農業委員会としては、農地行政の適正な執行、地域計画のブラッシュアップ、農地利用の最適化に引き続き取り組んでまいります。加えて、農業の現場、地域の声を第一とした農政となるよう要望活動にも力を入れていく所存です。

農業者の皆様をはじめ、関係諸機関の皆様には、ご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

農 業 委 員

これから3年間
よろしくお願いします

会長職務代理者

古畑 功一

大字築沢



長谷部 吉雄

六郷町西藤泉



清井 政彦

広幡町小山田



樋渡 由美

万世町金谷



山口 誠

金池七丁目



鈴木 和義

大字川井



我妻 協祐

万世町梓山



高橋 嘉門

広幡町上小菅



山王堂 民榮

太田町五丁目



伊藤 俊浩

遠山町



鈴木 晃子

大字築沢



橋本 政美

成島町一丁目



木村 彰博

窪田町藤泉



中嶋 明

塩井町塩野



高山 吉典

笹野本町



佐藤 政和

窪田町矢野目



黒田 義一郎

大字上新田



目崎 秀也

大字赤崩



農地利用最適化推進委員

万 世  我妻 邦也 万世町梓山 三 沢 ・ 田 沢	上 長 井  吉田 清志 古志田町 塩 井	旧 市  宮崎 雅文 金池六丁目 六 郷	 竹内 一利 太田町三丁目 広 幡
 亀田 透 大字神原 山 上	 小関 恭弘 塩井町宮井 窪 田	 新藤 広一 六郷町西江股 三 沢 ・ 田 沢	 竹田 真吾 広幡町小山田
 諸橋 勝次 大字関根	 大島 裕次 窪田町窪田	 遠藤 耕一 窪田町矢野目	 鈴木 勘助 大字築沢
 和地 博美 大字李山 南 原	 山崎 榮一 大字南原笹野町	 油井 利明 大字浅川 上 郷	 高橋 浩孝 大字上新田

退任委員紹介

長い間ありがとうございました。

この度の農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、次の方々が御勇退なされました。長い間、本市農業の振興と発展に多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

農業委員

- 我 彦 正 福 ○遠 藤 伊 一 ○小 関 敏 弘
- 佐 藤 利 夫 ○相 田 市三郎 ○桐 澤 林右衛門

農地利用最適化推進委員

- 石 川 和 広 ○高 橋 信 夫 ○竹 田 修 二



感謝状贈呈の様子

長きにわたり農業委員又は農地利用最適化推進委員としてその職務に精励され、本市農業の発展に寄与された功績をたたえ、表彰規定により7名の方に感謝状が贈呈されました。

- 遠 藤 伊 一（6期18年）
- 我 彦 正 福（5期15年）
- 高 橋 信 夫（5期15年）
- 佐 藤 利 夫（4期12年）
- 相 田 市三郎（3期9年）
- 桐 澤 林右衛門（3期9年）
- 竹 田 修 二（3期9年）



組 織 と 役 割

積極的に取り組みます

農業委員会の役割について

- ①農地の売買や転用などを審査します。
- ②農業の担い手を育成します。
- ③農地の有効活用を促します。
- ④必要に応じ関係行政機関へ農地等利用の最適化を図る改善意見の提出を行います。



農業委員会は、その主たる使命である「農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進」を中心に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会です。

農業委員会の組織について

農業委員会

農業委員 19名

総会等に出席し下記事項を審議すると共に現場活動も行う

- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定・変更
- 農地等の権利移動の許可、農地利用集積計画の策定
- 農地転用許可にあたっての意見
- 農地等の利用の最適化の推進に関する施策について、提出する意見の決定

連携

必ず推進委員の意見を聴かなければならない

推進委員に総会等への出席を求めることができる

推進委員の希望で総会等に出席することができる

農地利用最適化推進委員 16名

- 担当地域において現場活動を行う
- 推進委員として意見を述べる
- 指針を踏まえて現場活動を行う
- 推進委員として意見を述べる
- 推進委員として意見を述べる

連携

農地中間管理機構

連携

農地利用最適化推進委員は、「農地等の利用の最適化の推進」を図るため、農業委員と連携し担当地域での農業者との話し合いや農地の出し手・受け手への働きかけを行い農地利用の集積・集約化を推進する等の現場活動を行います。

農 業 委 員 会 の

「農地等の利用の最適化の推進」に

総会・特別委員会について

①総会（委員数 全農業委員19名）

農地の売買や転用等の農地法等の許可や農政振興に関する事項を審議します。

②運営委員会（活動計画策定委員会も兼ねる。）（委員数 9名）

運営委員会は、総会の審議事項や農業委員会運営に係る事項を審議します。

活動計画策定委員会は、活動の計画を策定し前年度の活動内容を振り返ります。

③広報委員会（委員数 12名）

年2回の広報誌の発行により、農家の皆様へ農業に関する情報提供や農業委員会の活動状況をお知らせします。

④遊休農地対策委員会（委員数 全農業委員19名）

農地パトロールにより耕作していない農地を見つけ、所有者への利用意向調査を実施し遊休農地の解消に努めます。

農業委員、農地利用最適化推進委員の 担当地域（ブロック）について

農業委員会では、市内を3つのブロックに分け農事相談（原則として月1回）を行い、農地に関する売買、賃貸借、転用等に関する情報共有や意見交換を行っています。

地区担当の農業委員、農地利用最適化推進委員への相談を希望する場合は、事前に農業委員会事務局農地担当（☎ 0238-22-5111 内線 5602～5604）までご連絡ください。

地域（ブロック）	農 業 委 員	農地利用最適化推進委員	備 考
第1地域 「万世、山上、上郷」	万 世 樋渡 由美 万 世 我妻 協祐 山 上 目崎 秀也 上 郷 黒田義一郎 上 郷 鈴木 和義	万 世 我妻 邦也 山 上 諸橋 勝次 上 郷 高橋 浩孝 上 郷 油井 利明	農業委員 5名 推進委員 4名 計 9名
第2地域 「旧市、上長井、 南原、三沢・田沢」	旧 市 橋本 政美 旧 市 山口 誠 上長井 伊藤 俊浩 南 原 山王堂 民栄 南 原 高山 吉典 三沢・田沢 鈴木 晃子 三沢・田沢 古畑 功一	旧 市 竹内 一利 旧 市 宮崎 雅文 上長井 吉田 清志 南 原 山崎 榮一 南 原 和地 博美 三沢・田沢 亀田 透 三沢・田沢 鈴木 勘助	農業委員 7名 推進委員 7名 計 14名
第3地域 「窪田、広幡 六郷、塩井」	窪 田 木村 彰博 窪 田 小関 善隆 窪 田 佐藤 政和 広 幡 清井 政彦 広 幡 高橋 嘉門 六 郷 長谷部 吉雄 塩 井 中嶋 明	窪 田 遠藤 耕一 窪 田 大島 裕次 広 幡 竹田 真吾 六 郷 新藤 広一 塩 井 小関 恭弘	農業委員 7名 推進委員 5名 計 12名

青字は、新任委員

新規就農者認定書授与

令和7年度第32回定例総会において、新規就農者に認定された今野雄司さんへの認定書と農業新規参入促進報奨金の授与が4月15日に行われました。

しを聞かせてくれました。

【農業委員 樋渡由美】



今野雄司さん（右）

※農業者新規参入促進報奨金について

●支給対象者

農業委員会が定める基準（米沢市農業委員会新規就農申請者取扱基準）により新規就農者と認定された者。ただし、認定時の年齢が満50歳未満で、かつ本市に住所を有する者に限る。

●報奨金の額

一人当たり5万円（新規就農時1回限り）

●担当

農業委員会事務局農地担当

事務局職員の異動

転入

事務局長補佐
農政振興主査

転出

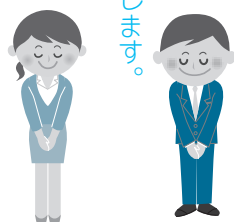
事務局長補佐
農地担当

高田 直美（業務課より）
山岸 哲哉（税務課より）

主査 宮原 功（税務課へ）
丸田 淳（スポーツ課へ）

よろしく願っています。

ありがとうございました。



収入保険

青色申告を行っている方が対象です！
農業経営の強い味方！

全ての農産物を対象に、自然災害に加え、価格の低下、ケガや病気なども含めた様々なリスクによる収入の減少を補てんする保険です

米沢市の
青色申告者の
約45%が加入

対象となる要因 経営努力では避けられない収入減少が対象です。



● 加入のご相談、見積り受付中です。お気軽にご連絡ください ●

山形県農業共済組合 置賜支所
〒992-0002 米沢市窪田町矢野目3668番地の3
収入保険課（直通）TEL 0238-27-7017
FAX 0238-37-5709

3分でわかる！
収入保険
ポイント動画配信中！



全国農業新聞

農家の経営に役立つ！
農政・農業・農村の動き、
問題をタイムリーに！！

＊月4回金曜日発行

＊講読料

新聞本紙＝月額 900 円

電 子 版＝月額 700 円

お申込み

農業委員・推進委員または
農業委員会事務局へ

TEL 22 - 5111 内線 5601

～農業者のための年金制度～ 農業者年金

◆加入の条件は3つ

- ①国民年金第1号被保険者
＊国民年金の付加年金(月額400円)への加入が必要です。
- ②年間60日以上農業に従事
- ③65歳未満
＊60歳以上は、国民年金の任意加入者に限ります。



◆6つのポイント

- ①農業者なら広く加入できる
- ②積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い
- ③保険料は自由に決められる
- ④終身年金、80歳前に亡くなった場合には死亡一時金がある
- ⑤税制面での優遇措置がある
- ⑥保険料の国庫補助がある

◎農業者年金の内容やご相談については、**農業委員会**または**JA**にお問い合わせください。

地域かわら版

北部コミセン
事業

北部コミュニケーションセンター主催「農業総合研究センター見学ツアー」

米の話題が尽きない昨今、農業についての関心が高まっており、消費者の方々に広く農業について知っていただきたいという思いから、農業総合研究センター（山形市）見学ツアーを企画しました。

7月2日（木）、あいにくの雨模様にもかかわらず、17名の方に参加いただきバスにて出発しました。

到着後、施設の概要について説明を受けた後、センター

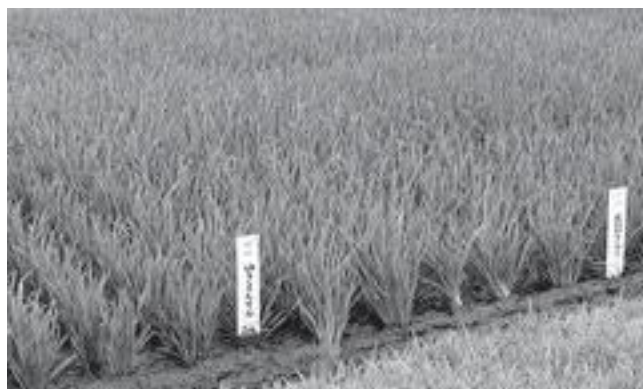


全体の研究管理を担当する研究企画部、各分野の基盤的な研究開発を担当する土地利用型作物部・みどりの食料安全部・食品加工開発部において、それぞれのどのような研究を行っているかお話を伺いました。

近年は、高温対策について13課題にも及ぶ内容で重点的に研究対策が行われており、注目は令和9年デビューを目

指す新品種「ゆきまんでん」の栽培方法確立に向け、実証を重ねているということでした。私も非常に楽しみに感じました。

実際に試験圃場も見せていただき、参加者からは「こつやつて色々な事を考えて開発研究が重ねられ、農家の方々が愛情を込めて、一生懸命お米を作ってくれているのですね」という声が聞かれました。また、センターの担当者の方



の「私たちは約5年で成果を出し、その技術を農家の皆様に確実にお伝えするため、日夜研究に励んでいます」という言葉がとても印象的であり、米作りを支える頼もしい存在であることを強く感じさせられました。

食卓に届くお米に込められた研究者の情熱と、農家の方々の多大な努力を知ることができた見学ツアーとなりました。【農業委員 宮崎雅文】

がんばっている人

窪田地区で農業委員を務めております、木村彰博です。今回は、私の花卉栽培について、皆さんにご紹介させていただきます。



私は、アルストロメリアを9品種、約4000株、面積にして約36aで栽培しています。アルストロメリア



は日持ちが良く、様々な色があり、主に業務用等に使われる花となっています。一年を通して収穫ができ、3月～5月が最盛期に該当します。現在、東京・大阪・福岡を中心に5市場に出荷しています。日々忙しく大変なことも多いですが、同じ生産者の方々と現地巡回や情報交換等を通して、やりがいを感じています。

燃料や資材の高騰など、大きな課題もありますが、今後は、新たな技術等を取り入れながら同じ仲間と共に「選ばれた生産者」になれるよう努力していきたいと思っています。

【農業委員 木村彰博】

広報「農委よねざわ」116号

発行日 令和8年9月1日

発行 米沢市農業委員会
〒992-8501 米沢市金池5-2-25
☎0238-22-5111 (内線5601)
E-mail:noui@city.yonezawa.lg.jp

委員長 樋渡 由美
委員 宮崎 雅文 山王堂民栄 木村 彰博 鈴木 和義
高山 吉典 橋本 政美 長谷部吉雄 相田市三郎
伊藤 俊浩 鈴木 晃子 桐澤林右衛門
印刷 株式会社羽陽印刷

(上記の広報委員長及び広報委員は、改選前の令和8年7月19日時点の構成員となります。)

編集後記

令和8年7月20日に委員の改選があり、今号が、旧広報委員が作った最後の農委よねざわになります。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

昨年発行の農委よねざわ113号・114号は、全国農業新聞特別賞を受賞しました。新メンバーにバトンを引き継ぎ、米沢の農業に関する情報を、ますます魅力的に皆様へお届けできるよう、一同張り切っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【広報委員長 樋渡由美】